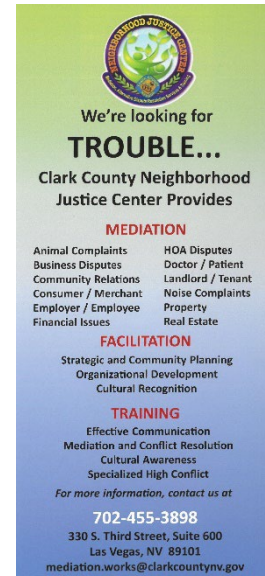


〈レポート〉【近隣トラブル対応の先駆者・米 NJC へ訪問見学実施。】

当社は、日本時間 2022 年 11 月 4 日に NJC(Neighborhood Justice Center：ネバダ州ラスベガス)へ訪問見学を実施しました。NJC は、州や郡が住民に対して無料で紛争解決サービスを提供するための公的機関。弊社代表が「近隣トラブル解決支援サービス」を日本で創設するにあたり、サービスモデルとして参考にした近隣トラブル対応の先端に位置する組織です。解決に至るまでの実際の方法や現状についてお話を伺いました。

NJC が配布しているチラシ(下写真)



— 概要 —

- ・日時 日本時間：2022 年 11 月 4 日(金)
- ・会場 Neighborhood Justice Center(NJC)
330 South Third Street, Suite 600 Las Vegas, NV 89101
- ・概要 メディエーターの April さんと他メディエーター2 名との対談
- ・目的 近隣トラブル対応の実態・解決方法など現状把握。

・コンテンツ

1. 実態、解決方法、対応人数や件数など基本情報の把握
2. メディエーターの研修制度について

今回の対談を快諾してくださった現地メディエーターの April さん。近隣トラブル対応の現状について細かく教えてくれました。

NJC では、ラスベガス 220 万人の人口に対して、1 チームにつきフルタイム 3 名、パートタイム 3 名に加え、ボランティアメディエーターで年間約 700 件のケースを扱っているという。

解決へ向けていくつかフローが存在するが、基本的にいかなる形で相談が入っても両者の話を聞いてから当事者同士で直接話し合いをする場を設けているようだ。当事者自身で出した答えは、他人に提示された答えより責任感や納得感が高いため、実践される確率も上がり、解決への一番現実的な方法だとし、あくまでメディエーションは問題を自力で解決する支援を行うことが最大の目的。当事者が解決策を模索するための視野を広げることを促すために情報を提供し、「常に中立の立場でリードをしてゆく。」と、第三者としての立場の大切さを説いていた。また、公的機関であるためか、メディエーションのトレーニングも行っており、40 時間のトレーニングを終了すればボランティアとしてメディエーターになれるというのだ。

日本ではトラブル解決へ向かう際、国民性として相手との接触を避けたがる傾向があり、接触をしたとしても事態が収束に向かうには時間がかかる場合が多い。NJC とは、解決への手段がやや異なることが分かった。

今回の訪問で大きな成果を得ることができたと感じた。近隣トラブルは、国民性が違うことで解決への糸口がやや異なりはするが、「事件未満のトラブルへの介入」「常に中立な第三者としての存在」は海を

超えて重要な分野だと考えられる。弊社相談員もメディエータートレーニングを受け、事件未満のトラブル解決へ向けて理解と知識を深めていく意向である。



左から弊社相談員中里、弊社代表田中、Aprilさん、他メディエーター2名(上写真)